

## 日本語 (Japanese Language)

### 日本語 1 (Japanese Language 1)

(留(留))

遠藤 かおり・非常勤講師/国際センター

1単位 前期 月 7・8

(平成 19 年度以前の授業科目:『日本語』) (平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前)の授業科目:『日本語(1)』)

**【授業の目的】** 大学生として生活していく上で、必要な日本語力を身につけ、大学での様々な場面に対応できることを目指す。例えば、講義や演習、また大学での事務手続き、掲示板からの情報の読み取り、友人との情報交換など、大学で必要とされる様々な場面を想定し、「読む」「聞く」「書く」「話す」の4技能すべてにおいて、レベルアップすることを目的とする。また、その過程で、自らの日本語力で不足している技能を見極め、それを伸ばす意欲を高める。

**【授業の概要】** テキストを中心に各課のテーマに沿って進めていく。また、適宜、時事問題なども教材として取り入れる。内容は課ごとに異なるが、「読む」「聞く」「書く」「話す」のそれぞれの技能を伸ばすためのタスクを行う。このような活動を通して、日本の大学生活で必要とされる場面を疑似体験し、生活するために必要なスキルだけではなく、研究活動に必要なスキルも身につけられるようにする。

**【キーワード】** 総合的な日本語(「読む」「聞く」「書く」「話す」の4技能)、運用力

**【先行科目】** [先行科目]

**【関連科目】** 『日本語/日本語 3』(0.5), 『日本語/日本語 5』(0.5), 『日本語/日本語 7』(0.5), 『日本事情/日本事情 I』(0.5), 『日本事情/日本事情 III』(0.5)

**【到達目標】**

1. 大学生活に必要な日本語力を身につける。
2. 大学で想定される様々なコミュニケーション場面で、身につけた日本語力を用いて、適切に対応することができる。
3. 自分に必要な日本語力を知り、学習方法が獲得できる。

**【授業の計画】**

1. オリエンテーション, レディネス(これまでの学習)・ニーズ(これからの学習希望)調査
2. 第1課:履修申請, 奨学金の申請をする。
3. 第1課:履修申請, 奨学金の申請をする。
4. 第2課:講義内容を理解し, 関連資料を読んで要約する。
5. 第2課:講義内容を理解し, 関連資料を読んで要約する。
6. 第3課:講義内容を理解し, レポート作成の準備をする。
7. 第3課:講義内容を理解し, レポート作成の準備をする。

8. 第4課:掲示板・教務などからの情報を読み取る。

9. 第4課:掲示板・教務などからの情報を読み取る。

10. 第5課:講義内容を理解し, 関連資料を選んで内容を理解する。

11. 第5課:講義内容を理解し, 関連資料を選んで内容を理解する。

12. 第6課:講義内容を理解し, キーワードを用いて自分の意見をまとめる。

13. 第6課:講義内容を理解し, キーワードを用いて自分の意見をまとめる。

14. 第6課:講義内容を理解し, キーワードを用いて自分の意見をまとめる。

15. 期末試験

16. 復習, フィードバック

**【教科書】** 佐々木瑞枝他著 『大学で学ぶためのアカデミック・ジャパニーズ』(The Japan Times)2001年 2,500円

**【参考書等】** [参考資料]

**【成績評価の方法】** 期末試験, 授業中の小テスト, 授業への取り組み状況などをもとに総合的に評価する。

**【再試験の有無】** 無

**【受講者へのメッセージ】** 日本で充実した大学生活を送るために、必要な日本語力を身につけましょう。毎回の授業を大切に、積極的に取り組んでください。

**【授業コンテンツ】** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=220963>

**【連絡先(オフィスアワー・研究室・Eメールアドレス)】**

⇒ 遠藤 (088-656-7491, 7kao-beeguru@kmd.biglobe.ne.jp) MAIL

**【備考】** 緊急時の連絡先:大石(地域・国際交流プラザ内 国際センター, 088-656-9875)

# Japanese Language

## Japanese Language 1

(留(留))

Kaori Endo · PART-TIME LECTURER / INTERNATIONAL CENTER

1 unit 前期 月 7・8

(平成 19 年度以前の授業科目: 『日本語』) (平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目: 『日本語 (1)』)

**Target)** 大学生として生活していく上で、必要な日本語力を身につけ、大学での様々な場面に対応できることを目指す。例えば、講義や演習、また大学での事務手続き、掲示板からの情報の読み取り、友人との情報交換など、大学で必要とされる様々な場면을想定し、「読む」「聞く」「書く」「話す」の 4 技能すべてにおいて、レベルアップすることを目的とする。また、その過程で、自らの日本語力で不足している技能を見極め、それを伸ばす意欲を高める。

**Outline)** テキストを中心に各課のテーマに沿って進めていく。また、適宜、時事問題なども教材として取り入れる。内容は課ごとに異なるが、「読む」「聞く」「書く」「話す」のそれぞれの技能を伸ばすためのタスクを行う。このような活動を通して、日本の大学生活で必要とされる場면을疑似体験し、生活するために必要なスキルだけではなく、研究活動に必要なスキルも身につけられるようにする。

**Keyword)** 総合的な日本語(「読む」「聞く」「書く」「話す」の 4 技能)、運用力

**Fundamental Lecture)** [先行科目]

**Relational Lecture)** “Japanese Language/Japanese Language 3”(0.5), “Japanese Language/Japanese Language 5”(0.5), “Japanese Language/Japanese Language 7”(0.5), “Japanese Culture/Japanese Culture 1”(0.5), “Japanese Culture/Japanese Culture 3”(0.5)

**Goal)**

1. 大学生活で必要な日本語力を身につける。
2. 大学で想定される様々なコミュニケーション場面で、身につけた日本語力を用いて、適切に対応することができる。
3. 自分に必要な日本語力を知り、学習方法が獲得できる。

**Schedule)**

1. オリエンテーション, レディネス (これまでの学習)・ニーズ (これからの学習希望) 調査
2. 第 1 課:履修申請, 奨学金の申請をする。
3. 第 1 課:履修申請, 奨学金の申請をする。
4. 第 2 課:講義内容を理解し、関連資料を読んで要約する。
5. 第 2 課:講義内容を理解し、関連資料を読んで要約する。

6. 第 3 課:講義内容を理解し、レポート作成の準備をする。
7. 第 3 課:講義内容を理解し、レポート作成の準備をする。
8. 第 4 課:掲示板・教務などからの情報を読み取る。
9. 第 4 課:掲示板・教務などからの情報を読み取る。
10. 第 5 課:講義内容を理解し、関連資料を選んで内容を理解する。
11. 第 5 課:講義内容を理解し、関連資料を選んで内容を理解する。
12. 第 6 課:講義内容を理解し、キーワードを用いて自分の意見をまとめる。
13. 第 6 課:講義内容を理解し、キーワードを用いて自分の意見をまとめる。
14. 第 6 課:講義内容を理解し、キーワードを用いて自分の意見をまとめる。
15. 期末試験
16. 復習, フィードバック

**Textbook)** 佐々木瑞枝他著 『大学で学ぶためのアカデミック・ジャパニーズ』 (The Japan Times)2001 年 2,500 円

**Reference)** [参考資料]

**Evaluation Criteria)** 期末試験, 授業中の小テスト, 授業への取り組み状況などをもとに総合的に評価する。

**Re-evaluation)** 無

**Message)** 日本で充実した大学生活を送るために、必要な日本語力を身につけましょう。毎回の授業を大切に、積極的に取り組んでください。

**Contents)** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=220963>

**Contact (Office-Hour, Room, E-mail)**

⇒ Endo (+81-88-656-7491, 7kao-beeguru@kmd.biglobe.ne.jp) MAIL

**Note)** 緊急時の連絡先:大石 (地域・国際交流プラザ内 国際センター, 088-656-9875)